

# 神魂神社(松江市大庭町)

かもす

ここは神魂神社神域の入口となるこの鳥居





石段を登っていく





右手に折れると階段の上に拝殿が見える





これが拝殿/注連縄が張られている



当地は近くに出雲国府跡が残されていることからわかるように、古代出雲の中心地であった/本殿は室町時代初期の正平元年(1346年)建立の大社造(現在の本殿は安土桃山時代の天正11年(1583年)に再建されたもの)/国宝/床が高く、木太く、宇豆柱(棟持柱)が壁から著しく張り出しており、大社造の古式に則っていると云う/現在の松江市および安来市の一帯であった意宇(おう)の地の「意宇六社(神魂、熊野、揖夜、真名井、八重垣、六所神社)」の一つに数えられている

# 神魂神社案内

## 御祭神

伊弉册大神

祈年祭

四月十八日

伊弉諾大神

例祭

十月十八日

新嘗祭

十二月十三日

当社は出雲国造の大祖天穗日命がこの地に天降られ出雲の守護神として創建、以来天穗日命の子孫が出雲国造として二十五代まで奉仕され、大社移住後も「神火相統式」、  
「古伝新嘗祭」奉仕のため参向されている。

本殿は室町時代初期、正平元年(一三四六年)建立の大社造で、その大きさは三間四方高さ四丈あり出雲大社本殿とは規模を異にするが、床が高く、木太く、とくに宇豆柱が壁から著しく張り出していることは大社造の古式に則っていることされ、最古の大社造として昭和二十七年三月国宝に指定されている。

本殿内は狩野山楽土佐光起の筆と伝えられる壁画九面に囲まれ、天井は九つの瑞雲が五色に彩られている。



規模は出雲大社の半分程だが、同じ大社造の形態/大社造は元々茅葺であったが、現在の神魂神社本殿は厚めの板で葺いた栩葺(とちぶき)となっている [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





屋根の千木は置き千木で、先端を水平に切った内削(うちそぎ)、祭神を祀る内殿は本殿の左奥に東を向いて安置されている/  
出雲大社では、千木は先端を垂直に切った外削(そとそぎ)、内殿は本殿の右奥に西を向いて安置されているが、これは祭神が  
女神であるか男神であるかの違いによるものであると云う(神魂神社の主祭神は女神の伊弉册(イザナミ)大神、出雲大社は  
男神の大国主命(オオクニヌシノミコト)というわけだ/屋根に乗る鯉木は三本と奇数であるが(祭神が女神の場合、鯉木は偶数  
が基本であるのだが)、これは出雲地方では、鯉木の数が三本に固定化されている為と云う





本殿と拝殿の取り合い部(いわゆる幣殿)





拝殿





拝殿の内部から本殿と拝殿の取り合い部を見る





反対側から社殿を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





本殿





本殿と拝殿の取り合い部





拝殿





中央の宇豆柱(棟持柱)が壁面から大きく張り出していることや、板戸が横に嵌め込む形で上下に並べられているのも古式を伝えている点と云う





床下が建物の全高に比べてきわめて高く、大社造が古代の高床式倉庫から発展してきたことが見て取れる/元来は柱を地面に直接立てる掘立柱であったが、現在は礎石が敷かれていると云う [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





大きな破風板





軒先の納まり





本殿と拝殿の取り合い部





本殿の横には末社が並ぶ





これは貴布禰稻荷両神社/本殿と同じ天正11年(1583年)の建立/重要文化財/二間社流造という形式





屋根は柿葺き





斗拱や海老虹梁





側縁





大仏様のような肘木





背後から本殿方向を見たところ/左手の山が迫っている





こちらは外山社





側面





その他にも沢山の末社が鎮座する





こんな説明板も立っていた

小泉八雲ゆかりの地- 14

## 神魂神社

出雲国造の祖、天穗日命が降臨し創建したと伝えられる神社である。現在の本殿は正平元年(1346年)の再建とされ、柱からは墨書もみついている。

現存する最古の大社造で、国宝に指定されている。

小泉八雲は明治24年4月5日に西田千太郎とともにここを訪れている。杵築の国造へ火鑽を授ける習慣や天穗日命が降臨時に使用したという鉄の大釜、伊弉諾・伊弉冊の神鳥とされるセキレイの伝承について記している。

『知られぬ日本の面影』 第14章「八重垣神社」より



### LAFCADIO HEARN-14 Kamosu-Jinja (Shrine)

It is said this shrine was built by order of the god, Ameno-hohi-no-mikoto, and is one of the most ancient and holiest shrines in the country. The main shrine, rebuilt in 1346, exhibits the oldest style of the "Taisha Structure," and is thought to predate the Grand Shrine of Izumo Taisha by 400 years. It is now designated as a National Treasure. Hearn and Nishida Sentaro visited this shrine on April 5, 1891.

( 'Yaegaki-Jinja' , *Glimpses of Unfamiliar Japan* )

松江市



## 参考ホームページ

<http://kankodori.net/japaneseculture/treasure/136/index.html>

<http://www.komainu.org/simane/matuesi/kamosu/kamosu.html>

<https://genbu.net/data/izumo/kamosu title.htm>

<https://www.travel.co.jp/guide/article/12512/>

<https://4travel.jp/travelogue/10562379>

<http://www.kokuhoworld.com/108.html>

<https://ameblo.jp/marudenden/entry-12121059155.html>

<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/201879>



